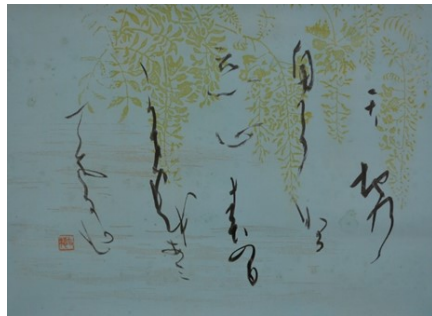


2025年 ふくやま書道美術館催物案内 10月

日	曜	常設展示室・展示室	
1	水	秋の所蔵品展Ⅰ 「没後20年　中室水穂」 会期：2025年8月29日(金)～10月19日(日) 休館日：月曜休館　※ただし、10月13日(月・祝)は開館。10月14日(火)は休館。	
2	木		
3	金		
4	土		
5	日		
6	月		
7	火	 《大観》	 《天地の》
8	水		
9	木		
10	金		
11	土		
12	日		
13	月	展覧会内容 今年没後20年を迎える福山市出身のかな書家、中室水穂(1935～2005)は、桑田笹舟・三舟父子に師事して書の道に進みました。古筆や料紙の研究により培われた表現だけではなく、墨蹟調の力強い漢字表現にも取り組んだ中室水穂の創作の軌跡をたどります。	
14	火		
15	水		
16	木		
17	金		
18	土		
19	日	展示替えのため休館　10月21日(火)～23日(木)	
20	月		
21	火		
22	水		
23	木	秋の所蔵品展Ⅱ 「文房具を愛でる」 会期：2025年10月24日(金)～12月14日(日) 休館日：月曜休館　※ただし、11月3日(月・祝)、11月24日(月・休)は開館、11月4日(火)、11月25日(火)は休館。 会　場：常設展示室・展示室	
24	金		
25	土		
26	日		
27	月		
28	火		
29	水		
30	木		
31	金		

かな書家・中室水穂の魅力★

今回の所蔵品展では福山市出身のかな書家・中室水穂の作品を展覧しています。

会場内の作品を見ていると…最後(落款)に「水蘧」や「美津本」など、中室水蘧先生の雅号が書かれています。しかし、「鐵良」と書かれた作品も数点あります。中室先生の展覧会なのでももちろん「鐵良」も中室先生のことですが、この「鐵良」とは、先生が尊敬されていた富岡鉄斎と良寛に由来し、漢字作品の落款に別号として使用されています。中室先生は生涯、『墨蹟ほくせきのかな』を追求していました。墨蹟とは、中国では肉筆を意味する言葉ですが、日本書道や茶道用語では高僧(官位の高いお坊さん)の書いた字を「墨蹟」と呼びます。高僧たちの字は、正統な書法に基づいているというよりも自己流といった作品・作風が多いのですが、字に宿る作者(高僧)の精神性の高さや深さを感じることができ、永く尊ばれています。そんな「墨蹟」に魅了され探求し、「かな書」で培った技量と筆法を用いて表現された作品は、見事に「かな」の美しさと「墨蹟」の心に響く力強さが融合され中室先生独自の「墨蹟のかな」として到達し完成されているのです◎

良寛にも傾倒した中室先生。子どもと遊び、歌を詠み、自由に書を書くという親しみ深い良寛さんの暮らしぶりも自身の理想とされていたようですよ★

所蔵品展観覧料

一 般	150 円 (120円)
高校生以下無料	

※()内は有料20名以上の団体料金

次の方は観覧料が無料です

- 社会福祉施設に入所されている方
■福山市・府中市・神石高原町に住所を有する65歳以上の方（運転免許証やマイナンバーカードなど、住所・年齢が確認できるものが必要）
■身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を持参する方、及びその介護者1名

※開館時間は午前9時30分から午後5時までです。

※月曜日【 の日】は休館日です。

FUKUYAMA MUSEUM OF CALLIGRAPHY
ふくやま書道美術館

〒720-0067 福山市西町二丁目4番3号

JR福山駅福山城口(北口)から西へ約400m TEL 084-925-9222

Webページ www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyama-syodo/
電子メール syodo@city.fukuyama.hiroshima.jp